

令和 8 年 4 月 1 日

保護者の皆様
地域の皆様

船 橋 希 望 学 舎
世田谷区立希望丘小学校
校 長 野々村 剛

令和 7 年度学校自己評価報告書・令和 8 年度に向けた改善策

(学校関係者評価委員会評価報告書を受けて)

昨年度 2 月に本校の学校関係者評価委員会委員長 浦五月様より、令和 7 年度の学校関係者評価結果の報告と提言を受けました。各委員の皆様から、関係者評価の分析や教育活動の参観等をふまえ、さまざまな視点からの評価や率直なご意見をいただきました。総合所見においては、児童の学校生活に対する満足度が高いとの評価を頂きました。挨拶、思いやりのある行動、学校行事への主体的な参加など、人間性の育成に関する成果が本校の強みであるとの心強いお言葉を頂きました。また安全教育、広報活動についても高い肯定率が示され、安定した教育活動が展開されているとの温かい言葉を頂きました。「

一方で、読書週間の定着や地域との連携の見える化など、改善点も明らかになりました。また、学校行事や学校運営に関する地域評価には改善の余地があり、地域との連携強化には継続的に取り組んでいく必要があると考えます。

学校関係者評価委員会報告書より、改善すべき課題について、令和 8 年度の具体的改善策をご報告いたします。

1 新たな体制づくり（継続）

- ① 新旧教員の入れ替わりに伴う、新たなチームの構築を図る。着実な引継ぎをし、積み上げてきた学校の良さを継続させる。若手教員に活躍の場を与え、組織の活性化を図る。
- ② 新規採用、2 年次、3 年次の若手教員の育成を一層推進する。学年主任を中心に学年団を結成し、交換授業を積極的に推進する。またトラブル、いじめの未然防止、個への支援における適切な連携・対応の仕方について、教師の人権意識を高めるとともに、基本的な指導スキルを高めていけるよう組織的な OJT を推進する。
- ③ 授業力の向上を目指す。昨年度より継続で国語科指導の研究に取り組む。

2 温もりのある指導、環境づくり～いじめを絶対に許さない

本校のモットーである「信頼・笑顔・温もり」を念頭に置き、児童が安心して学び、過ごせる環境の構築に努める。

- ① 日常の指導、学校生活アンケート、QU 分析、スクールカウンセラーとの連携等を着実にを行い、児童からの SOS、異変に迅速に対応する。
- ② 教師自身が人権感覚を身に付け、危機意識を高く持つ。児童への暴言や不適切な指導を厳に慎み、「教師の笑顔」をもって全ての児童が安心して過ごせる環境を作る。

3 読書に触れる機会を意図的につくる

- ① 学習活動において、タブレット端末の活用に偏ることなく、紙ベースで「書く」「読む」活動を十分に確保し、使い分ける。
- ② 情報共有のみの学習活動ではなく、「読み取って考える、議論する」「思考して表現する」という活動を着実にを行い、書面の良さに触れる機会をつくる。
- ③ 保護者の協力を得つつ、読み聞かせ、作品紹介等の場を継続的に設定する。また読書感想文への応募、紹介を積極的に行う。
- ④ 学校配置の図書館司書と連携した図書室の整備、近隣の図書館と連携した学級文庫の充実を図る。

4 情報発信の活性化

- ① 年3回の土曜参観日を含む学校公開日の設定は引き続き継続。今後も保護者、地域の声を聞きつつ、可能な限り多くの方のニーズにお応えできる形を検討していく。
- ② 学校だより、学級通信、ホームページを最大限に活用し、児童の様子を分かりやすく、伝えていく。学年、学級にばらつきが無いように内容についても教員にも指導していく。
- ③ 各種お知らせ、すぐーる配信は常に先を読み、早めの対応を心掛ける。保護者にとって必要な情報が確実に行き届くように徹底する。(継続)
- ④ 学校内外を問わずチラシの配布、ポスター掲示に積極的に協力をし、PTA、町会・自治会と連携した情報発信に努める。(継続)

5 地域との連携

- ① 避難所運営訓練の発展。町会、街づくりセンターと連携し、規模の拡大や内容の工夫改善を目指す。校内でも避難訓練等で話題にし、広く周知する。また訓練の様子についてホームページや全校朝会の講話等で伝え、防災への関心が高まるよう努力する。
- ② 各町会、自治会、遊び場解放委員会、とと会主催の交流イベントにおいては家庭、地域、学校の交流の場となるように、学校をあげて最大限に協力をする。

6 船橋希望学舎の取組 (継続)

小・中9年間で子どもを育てることの意義を教員が理解し、学び舎内の縦と横の連携を一層推進していく。また活動の様子や意義について、児童や保護者に丁寧に伝えていくようにする。

① 学び舎の日

年間2回、学び舎の中学校1校、小学校3校の教員が一同に集まり、授業参観を通して小中の学習指導の系統、連携、共有すべき事について足並みを揃え、協議し確認し合う場をもつ。

② 中学校訪問

6年生が中学校を訪問し、施設見学や授業体験を行う。

③ 入学式、卒業式、体育祭、文化祭の参観、見学（主に教職員）

④ 子どもぶんか村の活動（青少年船橋地区委員会）

中学校で一緒になる3校の小学生が学校の垣根を超えて友情を深めることができます。